

Weekly コラム

令和 6 年 10 月 23 日



活動方針

当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

中小企業等の M&A と労務 DD

◆ 中小企業等を取り巻く喫緊の課題

中小企業庁の調べでは、2025 年までに 70 歳を超える中小企業及び小規模事業者(以下「中小企業等」)の経営者は約 245 万人となり、うち約半数の 127 万社が後継者未定となっています。この 127 万社という数字は、日本全体の企業数の 1/3 に当たります。

これをそのまま放置すると、中小企業等の廃業の急増により、2025 年までの累計で、約 650 万人の雇用と約 22 兆円の GDP が失われる可能性があるとしています。これらの課題解決の一つとして、第三者への事業承継(本稿では「M&A」とします)のニーズが高まりつつあります。

◆ デューデリジェンスとは

デューデリジェンス(Due Diligence)とは、Due(当然・正当)Diligence(精励・努力)という意味で、投資を行うに当たり、投資先企業の価値やリスクなどを事前に調査することを言います。

M&A におけるデューデリジェンス(以下「DD」)の目的は、買収企業の経営環境、事業内容などを調査し、財務状況・収益力について分析を行い、法務面の問題点・リスクを洗い出して、より正確に企業実態や事業運営の手法を把握することです。その種類には財務 DD、法務 DD などがあり、労務 DD も重要な位置を占めます。

◆ 労務 DD の定義とその内容

労務 DD については、法律等での明確な定義はありませんが、一般的に「労働に由来する潜在債務を調査すること」となります。

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済俱楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

ここでの潜在債務とは、簿外債務と偶発債務を合わせた概念になります。簿外債務とは、本来、費用として財務諸表に計上されなければならない債務を言い、未払残業代や加入漏れの社会保険料などが挙げられます。偶発債務とは、将来、想定外の出来事で発生し得る債務を言い、解雇の無効や管理監督者と認められないなどによるバックペイ(遡っての給与等の支払い)、労働災害やハラスメント問題による会社の損害賠償リスクなどがこれに当たります。

近年、第三者への事業承継(M&A)をスムーズに遂行するため、また、売り先企業が自社をより高額で売却するため、さらには人的資本経営の高まりからも、事前に潜在化しているリスク対応としての労務 DD が注目されています。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。